

登録番号	第 00014 号		
登録年月日	平成 20 年 10 月 9 日	登録区分	第二種

名称 (型式等)	大阪大学真空管式計算機 一式 (ENIAC型 10進演算装置及び本体)
所在地	大阪府豊中市
	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
所有者 (管理者)	大阪大学総合学術博物館
製作者(社)	大阪大学工学部 城研究室
製作年	1950年代
選定理由	本機はわが国で最初期に開発された電子計算機である。大阪大学では終戦直後から電子計算機の研究を開始し、1950年に世界初の電子計算機といわれる ENIAC 型の演算装置を試作した。その延長線上で、真空管式のコンピュータの開発に着手し、本機は1959年に基本動作を確認した。本機は、日本のコンピュータ開発の先鞭をつけただけでなく、その後の研究開発に貢献した日本コンピュータ史上先駆けとなった装置である。
登録基準	1 - イ

公開・非公開	公開
写真	 <p>The photograph shows a museum exhibit titled "Dawn of the Computer". The exhibit consists of several large, vertical panels filled with numerous vacuum tubes, arranged in a grid-like pattern. The panels are illuminated from behind, making the tubes stand out. A glass display case is visible in the foreground, and a sign with the title "Dawn of the Computer" is mounted on the wall. The exhibit is located in a museum setting with other displays visible in the background.</p>
その他参考となるべき事項	